

異文化コミュニケーション学部入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

入学者に求める知識・技能・態度・体験

・知識

高等学校における外国語(英語)科目、国語科目、地理・歴史・公民科目の内容を理解していることが必要です。また、政治・経済、倫理、芸術、数学、理科などの科目にも関心を持っていれば、なお理想的です。

・技能

コンピュータの基本操作をマスターしていることが望まれます。「英語」に関しては、読む、書く、話す、聞くといった能力を高等学校で十分に身に付けておくことが必要です。

【Dual Language Pathway】

Dual Language Pathwayで学ぶためには、自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解でき、流暢かつ自然にやりとりができる、さらには幅広い話題について、明確で詳細な文章を書く英語力が必要です。

【Intercultural Communication for Global Leadership (以下、ICGL)】

主に英語で中等教育を修了し、英語関連科目、社会、歴史、政治などの領域の内容を理解していることが必要です。また、経済、倫理、芸術、数学、理科などに関連する科目にも関心を持ち、入学後の日本語学習への意欲をもっていれば、なお理想的です。

【NEXUS プログラム】

中等教育を修了し、英語関連科目、社会、歴史、政治などの領域内容を理解していること、N3程度の日本語能力を持っていること、また日本語で必要な科目を履修していくための強い意欲が必要です。また、経済、倫理、芸術、数学、理科に関連する科目にも関心を持っていれば、なお理想的です。

・態度

高い倫理性を持って、文化的違い・性別・しょうがい理由とする偏見を持たないように努め、様々な文化背景・生活体験を有する人たちと良好な人間関係を構築し、協働的に作業ができる素地があることが望まれます。また、社会や世界の現象に関心を抱き、それらを複眼的な視点から考えて問題を引き出し、その問題に取り組んでいこうとする意欲と志を持っていることが必要です。

【5年一貫プログラム】

上記の態度に加え、学業と社会への貢献への強い意欲を持ち、博士課程前期課程を経て、通訳翻訳、英語教育、日本語教育、国際協力いずれかの領域で、高度な専門知識を生かした仕事

を目指す志を持っていることが必要です。

・体験

海外体験のあるなしは問いません。人間とは何かといった問題、人と人とのコミュニケーションのありかた、自文化と異文化の相違といったことに興味や関心を持っていれば十分です。

入試種別の目的

1. 一般入試

本学ならびに異文化コミュニケーション学部 of 教育研究上の目的(立教大学学則第1章第1条2項別表7参照。以降同様。)を理解し、異文化コミュニケーション学部での教育を志望する者に対して、高等学校における教科・科目の学習の達成度を測り、選抜することを目的とする。

2. 大学入学共通テスト利用入試

本学ならびに異文化コミュニケーション学部 of 教育研究上の目的を理解し、異文化コミュニケーション学部での教育を志望する者に対して、高等学校における教科・科目の学習の達成度を、大学入学共通テストを利用して測定し、選抜することを目的とする。

3. 自由選抜入試

異文化コミュニケーション学部に関連した高い能力をもつ者、あるいは学業以外の諸活動の分野に秀でた個性をもつ者で、本学ならびに異文化コミュニケーション学部 of 教育研究上の目的を理解し、そこで学びたいという熱意を提出書類及び面接等の内容により多面的・総合的に評価し、選抜することを目的とする。

4. 国際コース選抜入試

グローバル社会に貢献できる人材を育成するコースや、英語のみで卒業要件単位を修得できるコース等での学修を希望する者を、提出書類や小論文、面接等の内容により多面的・総合的に評価し、選抜することを目的とする。

5. アスリート選抜入試

スポーツ競技の実績が優秀であるだけでなく、人格的にも優れ学業に対する高い意欲をもつ者を、競技実績や提出書類、小論文、面接等の内容により多面的・総合的に評価し、選抜することを目的とする。

6. 外国人留学生入試

国際交流の一環として、交換留学制度とは別に、本学での教育を希望する外国人留学生を選抜することを目的とする。

1) 筆記試験および面接による募集制度

外国人留学生を、提出書類や日本語試験、面接等の内容により、多面的・総合的に評価する。

2) 書類選考による募集制度

外国人留学生を、提出書類および日本留学試験の成績等の内容により、多面的・総合的に評価する。

7. 指定校推薦入学

異文化コミュニケーション学部が自らの教育研究上の目的に基づいて、特色ある教育を行っている高等学校を指定したうえで、異文化コミュニケーション学部 of 教育研究上の目的を理解し、異文化コミュニケーション学部が定める一定の学力を有する者を高等学校長が推薦し異文

化コミュニケーション学部が受け入れることを目的とする。

8. 関係校推薦入学

日本聖公会に所属する高等学校を対象として、本学ならびにコミュニティ福祉学部の教育目的を理解し、キリスト教に基づく教育を継続して学びたいという意欲のある者を高等学校長が推薦し本学が受け入れることを目的とする。

9. 学校長推薦による入学 (NEXUS)

NEXUS プログラム日本語集中履修期間のカリキュラム内容ならびに2学期目以降に接続する異文化コミュニケーション学部カリキュラムにおける教育研究上の目的に基づいて、特色ある教育や言語教育を行っている外国の高等学校を指定したうえで、次世代に繋がるグローバルな協働共生について日本語コミュニケーションを通じ実践する姿勢を持ち、かつ異文化コミュニケーション学部の教育研究上の目的を理解し本学が定める一定の学力を有する者を当該の高等学校長が推薦し異文化コミュニケーション学部が受け入れることを目的とする。

10. 学校長推薦による入学 (ICGL)

異文化コミュニケーション学部が実施する PEACE プログラムの教育研究上の目的に基づいて、特色ある教育を行っている外国の高等学校を指定したうえで、異文化コミュニケーション学部の教育研究上の目的を理解し、本学が定める一定の学力を有する者を当該の高等学校長が推薦し異文化コミュニケーション学部が受け入れることを目的とする。

11. 英語トラック選抜入試 (ICGL)

外国の学校教育のもとで学び得た能力や個性を、本学の英語コースにおいて更に深め発展させる意欲ある留学生に対し、異文化コミュニケーション学部の教育研究上の目的を理解し、本学が定める一定の学力基準をもとに提出書類により多面的・総合的に評価し、選抜することを目的とする

入学前学習

REO (Rikkyo English Online) を使った英語学習を課しています。また同時に推薦図書を選定し、入学前の読書を推奨しています。指定校推薦入学・関係校推薦入学対象者には、日・英両言語による課題図書を選定し、レポートを課します。